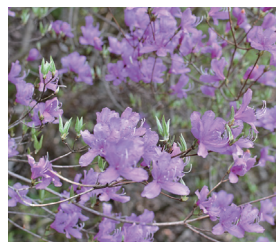
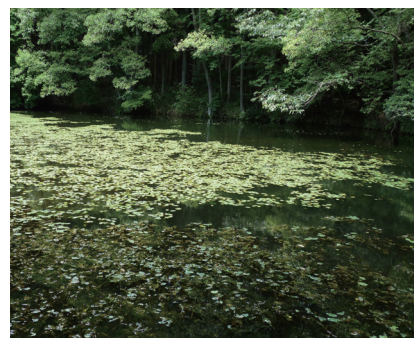


# いばらきの自然

～平成27・28年度 茨木市自然環境資源調査結果から～



茨木市

## はじめに

茨木市は、市街地には、市民の憩いの場である安威川をはじめとして、西河原公園や元茨木川緑地などの緑地が点在します。また、市の中心部から車で20分ほど走るだけで、美しい棚田の広がるのどかな里地里山の景色が広がり、清流ではホタルが飛び交う姿を目にすることができます。

茨木市では、そのような市内の自然環境を把握するため、平成27～28年度にかけて自然環境資源調査を実施しました。その結果、現地調査と既存資料調査で、哺乳類20種、鳥類126種、爬虫類13種、両生類16種、魚類42種、昆虫類約1500種、底生動物約185種、植物約1190種が確認されました。今回の調査で、市内では、山間部を中心に希少な生きものが多く生育生息し、大都市近郊でありながら、非常に豊かな自然が残されていることが明らかになりました。

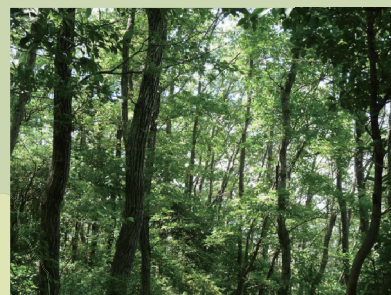
この冊子を手にとって頂いた方が、少しでも茨木市の自然環境に関心を持ち、この豊かな自然が次の世代にも残せるようになればと思います。

## 茨木市の自然の特徴

### 山間部・丘陵部 - 棚田周辺に広がる里地里山 -

現在の日本では、古くから薪や炭、屋根葺きの材料などを得る場であった里山や草原が利用されなくなった結果、その環境に特有の生きものが絶滅の危機に瀕しており、環境省のレッドリストにより絶滅危惧種に指定されている種のうち、約半数がこのような里地里山に生息・生育する種であると言われています。

そのような中、茨木市の山間部や丘陵部には、現在でもアカマツやコナラからなる雑木林が広く残っており、谷部に広がる棚田やため池を中心に良好な里地里山環境が見られます。棚田の周辺では、湿地や明るい草地を好む草本類やカエル類、トンボ類、ホタルなどが、雑木林では、オオムラサキやクワガタムシが樹液に集まる姿が見られます。また、山を歩くと、多くの野鳥が観察でき、ニホンリスの姿を見かけることもあります。



### 平野部 - 公園緑地 -

市街地では都市緑地である元茨木川緑地が市街地を縦断しています。また、西河原公園は、安威川から導入する農業用水とその周辺の樹木、竹藪を活用した公園であり、園内では、様々な野鳥のほか、チョウやカワトンボなどの昆虫類が見られます。これらの公園や緑地は、自然性に乏しい市街地を南北につなぐ貴重な緑地であり、都市部において動物の移動経路としての役割も果たしています。



### 河川

安威川の上流部には、溪畔林が発達し、オオサンショウウオやヤマセミなど、市内ではここにしか生息しない生きものが見られます。樹林や農地の間を流れる河川では、あちらこちらでゲンジボタルが観察できます。

平野部を流れる河川は、いずれもコンクリートで護岸されており周辺は都市化が進んだ環境ですが、発達した中州にはヨシなどの植物が繁茂し、エビ類や貝類、トンボ類などが豊富に生息しています。また、安威川やその支流である大正川は、神崎川を經由して海へと繋がっていることから、海から遡上するアユやウキゴリなどの魚類も見られます。

## 守りたい茨木の自然

今回の調査結果を基に、市内で希少な動植物が生息・生育していたり、多くの生きものが生息・生育している守っていききたい環境を抽出しました。

この中から、自然観察におすすめの地域を、次のページから紹介しています。

市内には、環境省のレッドリスト等に掲載されている希少な種も数多く確認されました。その一例を紹介します。

### 哺乳類



ホンドギツネ

カヤネズミ(巣)

### 鳥類



オオタカ

サシバ

### 爬虫類



ニホンイシガメ

ヒバカリ

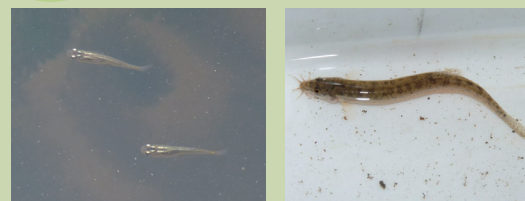
### 両生類



トノサマガエル

オオサンショウウオ

### 魚類



ミナミメダカ

ドジョウ

### 昆虫類



ハルゼミ

ヘイケボタル

オグマサナエ

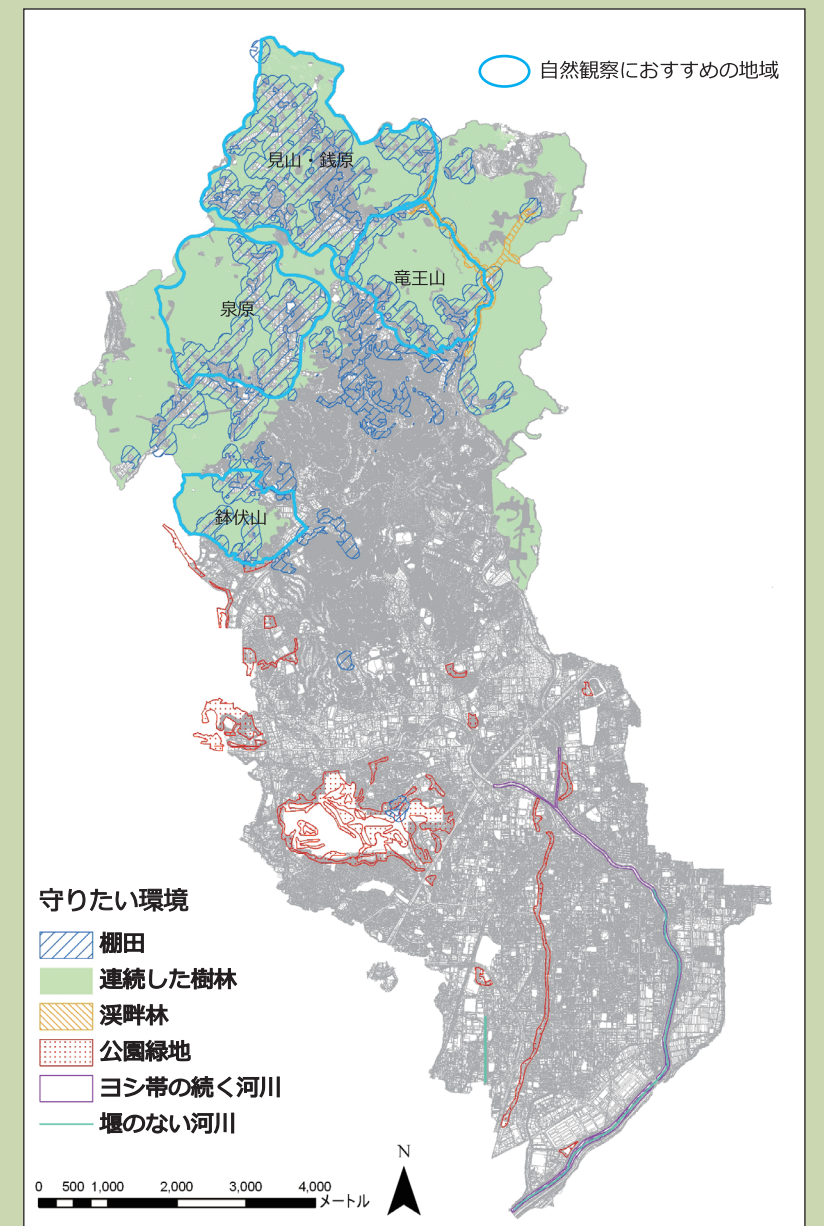
### 植物



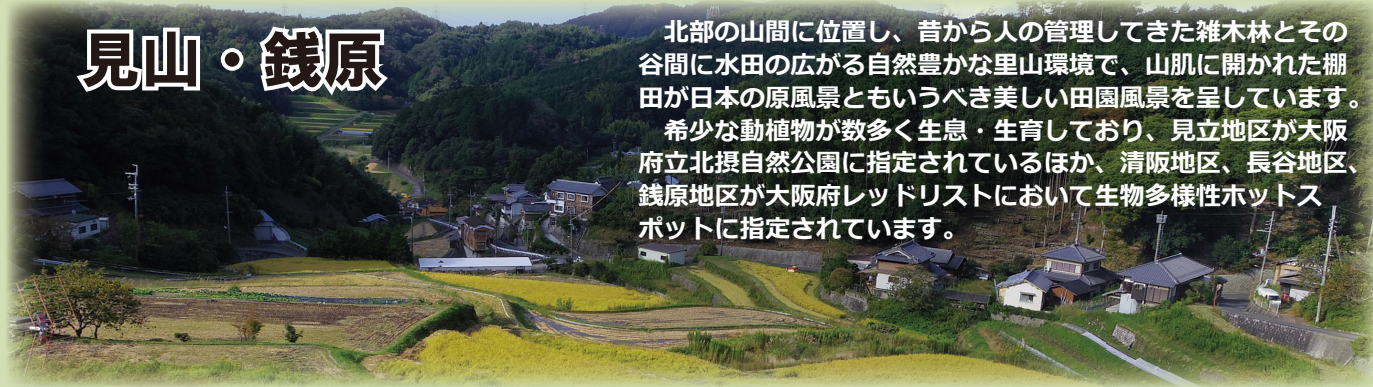
タコノアシ

オミナエシ

ミクリ



# 見山・銭原



北部の山間に位置し、昔から人の管理してきた雑木林とその谷間に水田の広がる自然豊かな里山環境で、山肌に開かれた棚田が日本の原風景ともいべき美しい田園風景を呈しています。希少な動植物が数多く生息・生育しており、見立地区が大阪府立北摂自然公園に指定されているほか、清阪地区、長谷地区、銭原地区が大阪府レッドリストにおいて生物多様性ホットスポットに指定されています。

## ①見山の郷周辺



交流施設である見山の郷の周辺は、上音羽川沿いに広がるなだらかな棚田とその周囲の山林からなる美しい田園地帯です。春には、畔にタンポポやツクシが見られ、林の林床には、ツツジやショウジョウバカマが可憐な花を咲かせています。初夏の水田を夜に訪れると、トノサマガエル、ヌマガエルなどのにぎやかな声が響き、川沿いではゲンジボタルの姿が見られます。また、すぐ脇の林からは、フクロウの鳴き声が聞こえることもあります。

## ②北山自然歩道










長谷から狩待峠を越えて清阪へ至る自然歩道であり、棚田、スギ・ヒノキ植林、お台場クヌギも見られる雑木林などを通るルートです。歩いていると、道をイタチが横切ることもあります。春には、山肌をヤマザクラのピンクが彩ります。夏の山林ではオオルリやキビタキ、ホトトギスなどが囁き、初夏には谷筋の林でタゴガエルの鳴き声を聞くこともできます。いろいろな環境を通るため、トンボやチョウの種類も多く、夏には、ヘイケボタルの姿も多く見られます。梅雨の時期に水辺を探すと、木の枝先に白い泡状のモリアオガエルの卵が見られます。

## ③青少年野外活動センター



アカマツやコナラなどからなる雑木林とスギ・ヒノキ植林が分布する野外活動施設で、キャンプやピクニックが楽しめます。ハイキング道や木道も整備されていて、自然をいっぱい楽しめる施設です。ホンドギツネやホンドテンが生息しており、道沿いには時々糞が落ちています。初夏の山林にはハルゼミの鳴き声が響き、リュウブやエゴノキがかわいらしい花を咲かせます。夏にはアオバトやキビタキの囁きが聞こえます。水辺ではモリアオガエルが産卵し、トノサマガエルやアカハライモリなども確認されています。

## 見山・銭原で見られる主な生きもの

-  **ホンドテン、ホンドタヌキ、ホンドキツネ、ホントイタチ**
-  **フクロウ、ダイサギ、カワセミ、カワガラス、キジ、アオバト、ホトトギス、ルリビタキ、ショウビタキ、オオルリ、キビタキ、コサメビタキ、コシアカツバメ、ヒガラ、ヤマガラ、カシラダカ、キセキレイ、ウグイス、センダイムシクイ、マヒワ**
-  **シマヘビ、アオダイショウ、ヒバカリ、ニホンマムシ、ニホトカゲ、ニホンカナヘビ**
-  **ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエル、トノサマガエル、ツチガエル、ヌマガエル、ニホンヒキガエル、タゴガエル、ウシガエル、アカハライモリ**
-  **ミナミメダカ**
-  **ハグロトンボ、クロイトトンボ、ハラビロトンボ、アキアカネ、ナツアカネ、オオシオカラトンボ、スジグロシロチョウ、ヒメアカタテハ、ツバメシジミ、ゴイシジミ、ミヤマセセリ、ホソバセセリ、ミツカドコオロギ、エンマコオロギ、コバナイナゴ、ゲンジボタル、ヘイケボタル、クロゲンゴロウ、ハルゼミ、ゴマダラチョウ**
-  **リュウブ、エゴノキ、ネウツギ、クマノミズキ、エノキ、コバノミツバツツジ、クロモジ、コアジサイ、ムラサキシキブ、カラスウリ、ジュズダマ、アセビ、ノアザミ、ヤクシソウ、ノコンギク、オモダカ、オオバノトンボソウ、ツリガネニンジン、アキノタムラソウ、アキノノゲシ、キツネノゴマ、ショウジョウバカマ、ヤブカンゾウ、ココニユリ、チゴユリ、ホタルブクロ、シュンラン、イヌワラビ、ウラボシ**



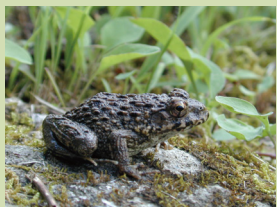
ホンドキツネ



モリアオガエル



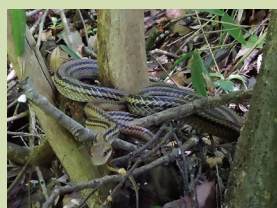
カシラダカ



ツチガエル



ショウビタキ



シマヘビ



■観察ポイント

-  哺乳類
-  鳥類
-  両生類
-  昆虫類
-  木や花
-  きれいな風景が楽しめます



ナツアカネ



ヘイケボタル



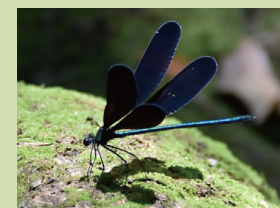
ツバメシジミ



ゲンゲ



ノアザミ



ハグロトンボ



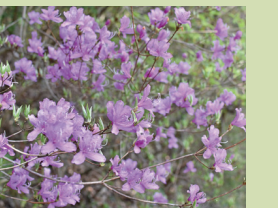
ゲンジボタル



ショウジョウバカマ



ヤブカンゾウ



コバノミツバツツジ

# 竜王山



標高 510mの独立峰である竜王山を中心とする地域であり、大阪府立北摂自然公園に指定されているほか、大阪府レッドリストにおいて生物多様性ホットスポットに指定されています。

竜王山の北縁には下音羽川が流れ、発達した溪畔林が見られ、音羽川溪谷と呼ばれています。この溪谷周辺では、府内でもめずらしいまとまった面積のアラカシ群落（照葉樹林）が見られ、山麓には、棚田が残り、ゲンジボタルなども生息しています。

竜王山では市民参加による里地里山保全活動が行われているほか、ハイキングや自然観察を楽しむ多くの市民に利用されています。また、同山は古来より信仰の対象となっており、山頂付近西側にある宝池寺への参拝者も多く見られます。

## ①音羽川溪谷



溪畔林が川面を覆い、オオサンショウウオ、ヤマセミ、アジメドジョウなどの市内でも分布が限られる貴重な動物が生息しています。

溪谷には、ミヤマカワトンボが舞い、カジカガエルの鳴き声が響きます。カゲロウ類やカワゲラ類などの水生昆虫も多く見られ、それを餌とする魚類も多く生息しています。

また、下音羽川と安威川の合流点周辺には、アラカシ群落が分布しており、溪流沿いの自然歩道を歩くとサンコウチョウの姿を目にすることもあります。

## ②竜王山自然歩道、東海自然歩道










忍頂寺のバス停から竜王山の山頂を目指すルートとして、東海自然歩道と竜王山自然歩道が整備されており、山頂には大阪平野を見渡せる展望台があります。

山頂付近から東側には、スギの大径木がそびえるように林立しており、車作の集落近くの歩道沿いには台場クスギが見られます。

初夏の雑木林では、キツツキが木をつつく音が響き、キビタキがあちらこちらでさえずっています。また、冬にはかわいいいりりびたきやヒガラの姿を見ることができます。

## 竜王山で見られる主な生きもの

-  **ホンドキツネ、ホンドテン、ニホンイノシシ**
-  **ヤマセミ、オシドリ、カワガラス、キセキレイ、ホトトギス、アオゲラ、アカゲラ、センタイムシクイ、ヤブサメ、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、ルリビタキ、キビタキ、サンコウチョウ**
-  **ヤマカガシ、アオダイショウ、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ**
-  **オオサンショウウオ、アカハライモリ、カジカガエル、タゴガエル、ニホンアマガエル、トノサマガエル**
-  **アジメドジョウ、アカザ、タカハヤ、カワムツ**
-  **ゲンジボタル、ミヤマカワトンボ、ハグロトンボ、ヒメアカネ、オナガアゲハ、イシガケチョウ、コムシジ、ウラギンシジミ、アサギマダラ、テングチョウ、ダイミョウセセリ、カナタタキ、スジクワガタ、カナブン、ミドリカミキリ、エグリトラカミキリ、マイマイカブリ**
-  **エドヒガン、ツブラジイ、スギ、ヤブツバキ、コバノガマズミ、シキミシラヤマギク、ハシカグサ、ノササゲ、アキノタムラソウ、イヌガラシハカタシダ、ホシダ、アラカシ、ツブラジイ、シラカシ、ウラジロガシカゴノキマメツタ、ヒシ、シシラン、ホソバカナワラビ、オニカナワラビ**



ニホンイノシシ



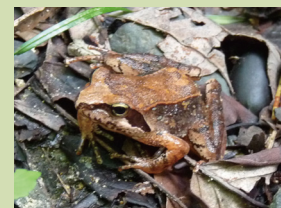
ヤマセミ



ヒガラ



ルリビタキ



タゴガエル



ヤマカガシ



イシガケチョウ



スジクワガタ



アラカシのどんぐり



カジカガエル



ミヤマカワトンボ



ダイミョウセセリ



ツルリンドウ



チゴユリ

# 泉原

まとまった面積の樹林が残り、山の稜線部を中心にアカマツ林が成立し、山腹にはコナラなどからなる雑木林やスギ・ヒノキの植林が広がります。佐保川沿いにはなだらかな棚田が広がり、谷間には谷津田も見られます。東海道自然歩道沿いには、ため池が点在し、周辺では希少な動植物が数多く残っています。また、本地域に位置する茨木市里山センターは、地元ボランティア団体による里山・森林整備の活動拠点になっており、イベントなども行われています。

## ①東海自然歩道周辺



東海道自然歩道沿いには、樹林に囲まれた谷津田が残り、オオタカやオオムラサキなど、良好な里地里山環境でしか見られない種が確認されています。早春の湿地では、二ホンヒキガエル、ヤマアカガエルの卵やオタマジャクシが、初夏にはゲンジボタルやヘイケボタルが多く見られます。また、溜池が点在し、ジュンサイなどの水草が豊富なため池では、イトトンボ類やオオアメンボ、ミナミメダカなどが生息しており、カワセミの姿を見かけることもあります。谷間に広がる棚田は、春にはタネツケバナやゲンゲのお花畑になっています。

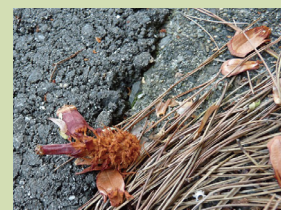
## ②山脈自然歩道



山脈自然歩道は、谷沿いの良く茂った林を抜け、多留見峠へと続く歩道です。谷沿いにはスギ・ヒノキの植林が広がりますが、稜線部にはアカマツ林が残り、所々に二ホンリスの食痕が落ちています。運が良ければ、姿を見かけることもあります。春から夏にかけて、谷沿いでは、オオルリやサンコウチョウ、ミソサザイのきれいな鳴き声が聞かれ、多くの夏鳥が観察できます。歩道を歩いていると、オタマジャクシからカエルになったばかりの二ホンヒキガエルが足元に飛び出してきました。

## 泉原で見られる主な生きもの

- 二ホンリス、ホンドテン、ホンドタヌキ、二ホンイノシシ、二ホンジカ**
- オオタカ、ヤマドリ、ツツドリ、ホトトギス、キビタキ、オオルリ、ノビタキ、ヤブサメ、サンコウチョウ、コシアカツバメ、ツバメ、ヤマガラ、コガラ、シジュウカラ、サメビタキ、コサメビタキ、センダイムシクイ、ウグイス、ミソサザイ、カワセミ**
- アオダイショウ、ヤマカガシ、ヒバカリ、二ホンマムシ、二ホントカゲ**
- 二ホンヒキガエル、二ホンアマガエル、タゴガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、ウシガエル**
- ミナミメダカ**
- オオアオイトトンボ、ホソミイトトンボ、クロイトトンボ、モノサシントンボ、二ホンカワトンボ、ミルンヤンマ、オニヤンマ、クロスジギンヤンマ、オグマサナエ、ナツアカネ、チツゼミ、ヒグラシ、オオムラサキ、コムシジ、ウラギンシジミ、アサマイチモンジ、キマダラセセリ、ミヤマクワガタ、タマムシ、ニセリンゴカミキリ、ミスカマキリ、オオアメンボ、ゲンジボタル、ヘイケボタル**
- イヌバナ、クロモジ、キブシ、ヒイラギ、カマツカ、コアジサイ、ナワシログミ、ミヤコアオイ、シシガシラ、ウツギ、キツネノゴマ、ヒメシダ、コナスビ、ネコハギ、ノアザミ、ツリガネニンジン、アキノタムラソウ、ホタルブクロ、ヒツジグサ、リョウメンシダ**



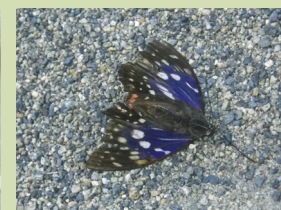
リスが食べたマツボックリの痕



オオルリ



ヒバカリ



オオムラサキ



モノサシントンボ



ヒツジグサ



ウツギ



サンコウチョウ



ヤマガラ



ヤマアカガエル



ミヤマクワガタ



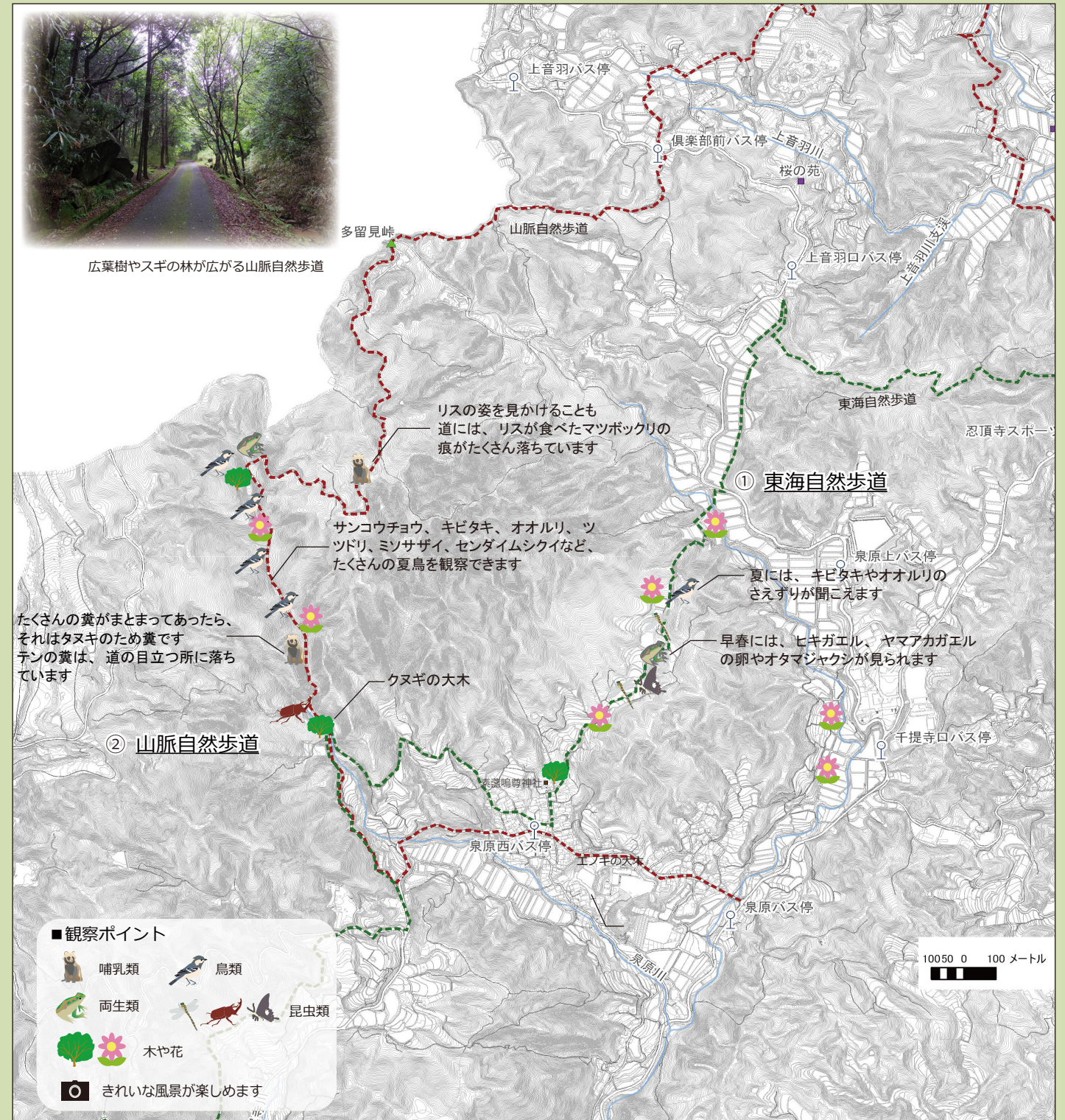
二ホンカワトンボ



ホタルブクロ



ウツボグサ



# 鉢伏山



茨木市西部に位置する標高 299mの鉢伏山は、アカマツやコナラを主体とする雑木林の割合が高く、市民ボランティアによる森林整備や山頂からの景観支障木の伐採などが熱心に行われており、山頂へと続く登山道の脇には、手入れされた明るい雑木林が広がっています。途中には、耕作跡地に広がる湿地やため池もあり、里地里山に見られる貴重な生きものが多く生息・生育しています。








南東側の栗生岩阪から北側の佐保免山にかけて鉢伏自然歩道により巡ることができ、手軽なハイキングコースとして市民に親しまれています。

## ① 鉢伏自然歩道～鉢伏山山頂



初夏の雑木林の明るい林床には、ササユリが多く咲き、山中のため池では、水面上をオオルリボシヤンマが飛び、岸边にはモリアオガエルの卵が見られます。夏には自然歩道沿いでは、ホトトギスやキビタキなどの夏鳥がさえずり、樹液には、オオムラサキやクワガタムシ、カナブンなどが集まり、にぎやかです。山道を横切るヒバカリを目にすることもできます。また、湿地状の水田跡地は、キイトンボなどのトンボ類の良好な生息場所となっており、ゲンジボタルやヘイケボタルも見られます。

## 鉢伏山で見られる主な生きもの

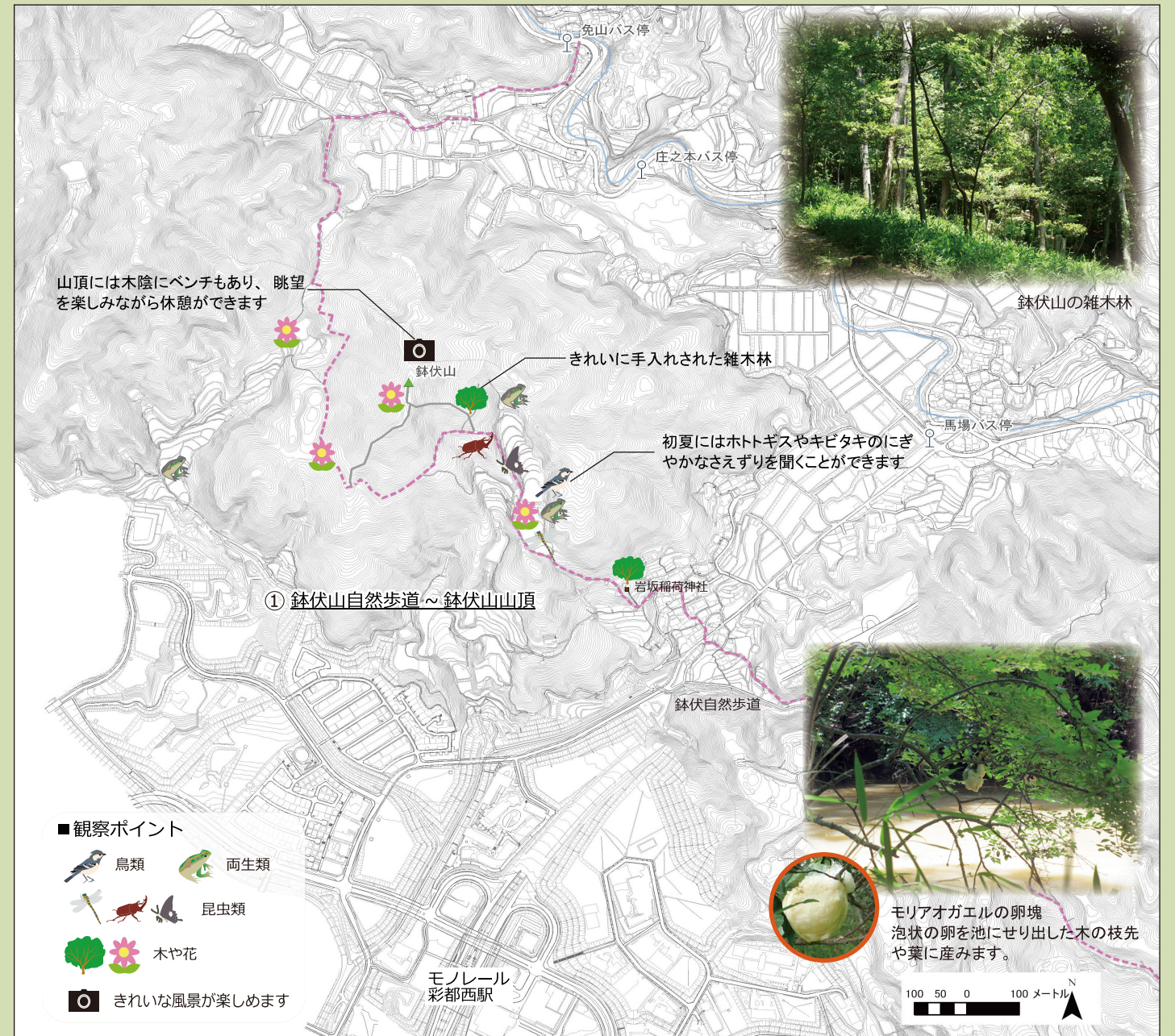
-  **ホンドテン、ニホンイノシシ、ニホンジカ**
-  **コジュケイ、ホトトギス、アオゲラ、コゲラ、ツバメ、モズ、ヤブサメ、ウグイス、センダイムシクイ、キビタキ、エナガ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル**
-  **ヒバカリ、ニホンカナヘビ、クサガメ**
-  **モリアオガエル、ニホンアマガエル、トノサマガエル、ウシガエル、アカハライモリ**
-  **ドンコ、ドジョウ**
-  **アオイトトンボ、キイトンボ、ハラビロトンボ、モノサシトンボ、オオルリボシヤンマ、マユタテアカネ、ツクツクボウシ、オオムラサキ、アカシジミ、ジャノメチョウ、サトキマダラヒカゲ、モンキアゲハ、ミヤマクワガタ、コクワガタ、アオカナブン、シロテンハナムグリ、セスジツユムシ、ツチイナゴ、オオスズメバチ**
-  **ササユリ、モチツツジ、クロモジ、コバノガマズミ、シラヤマギク、アキノキリンソウ、ヒシ、ミソハギ、ツリガネニンジン、ヒヨドリバナ、サワヒヨドリ、コブナグサ、ヌメリグサ、タラノキ**



キビタキ      ホオジロ      コゲラ      ニホンアマガエル      アカハライモリ



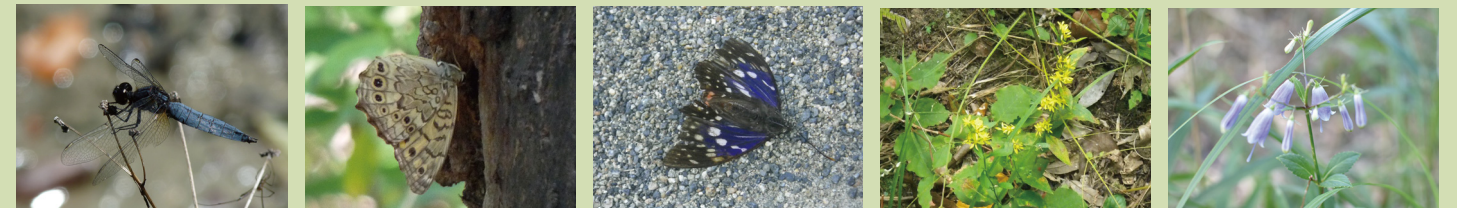
センダイムシクイ      エナガ      メジロ      トノサマガエル      ツクツクボウシ



キイトンボ      セスジツユムシ      コクワガタ      ササユリ      ミソハギ



アオイトトンボ      ツチイナゴ      カナブンとアオカナブン      ゲンノショウコ      タラの芽



ハラビロトンボ      サトキマダラヒカゲ      オオムラサキ      アキノキリンソウ      ツリガネニンジン

## 茨木市の自然を守るために

市内には豊かな自然が残っていることが明らかになった一方、課題も明らかになってきました。管理されなくなった雑木林の林床はササ類が密生し、自然の遷移で、徐々に暗い常緑樹林へと変化しつつあります。樹木が大きくなったことにより、キビタキやサンコウチョウなどの夏鳥は多くみられるようになりましたが、明るい林を好むササユリなど林床の植物は減り、それに伴い、それらの植物を食べる昆虫類も減少しています。また、丘陵部で進む開発や耕作放棄地の増加、外来種の拡大なども自然環境に大きな変化をもたらします。

今後、市では茨木市の生物多様性の豊かな生息・生育環境を守っていくため、将来に向けて自然環境を保全する地域の検討や、市民や事業者の皆さんによる自然環境保全活動の支援を行います。

また都市化の進んでいる丘陵部や市街地では、元茨木川緑地の再整備に加え、市内にも広がっている外来種についても周知・啓発を行ってまいります。

これらの取組を支えるため、環境学習の推進、生物多様性に関する調査研究、情報提供にも取り組んでまいります。市民・事業者の皆様も例えば以下のような取組に是非参加してください。

### 【市民の方へ】

- 茨木市内の豊かな自然を守ってきた農林業の営みを守るため、茨木産の農産物や木材を積極的に購入し使っていきましょう。
- 農林業や、自然環境を守るボランティア活動・プログラムに参加しましょう。
- 市民農園を利用しましょう。
- 所有する農地を市民農園として開設することを検討しましょう。
- 庭やベランダに花木を植える際には、茨木市に昔から生育している種類を植えましょう。  
(例：コナラ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、イロハモミジ、ヤマツツジ、シャシャンボ、アキノノゲシ、ヤブカンゾウなど)
- 庭に小さな池などのビオトープを作りましょう。
- 市の主催する環境学習講座や生きもの観察会等へ参加しましょう。
- 外来種について学習し、飼育している外来種を野外に放したり、他の地域から持ち込まないようにしましょう。
- 庭など身近な場所における外来種駆除を行いましょう。

### 【NPOの方へ】

- 市の主催する各種環境学習メニューへ講師や開催主体として参加しませんか。

### 【事業者の方へ】

- 小売業や製造業の方は茨木市産の農産物や木材などを積極的に取り扱っていきましょう。
- 市民農園事業に参加しましょう。
- 事業所の敷地内へ植栽する場合には茨木市に昔から生育している種類（在来種）の植栽を行いましょう。
- マンション建設等都市整備の際は緑地をできるだけ確保し、在来種を中心とした植栽や生物が生息可能な環境保全対策を行いましょう。また、自然環境の再生に努めてください。
- 市の主催する環境学習講座や生きもの観察会等へ参加しましょう。
- 農林業や、自然環境を守るボランティア活動・プログラムに参加しましょう。
- 地域の緑化活動に参加しましょう。
- 企業で取り組む生物多様性や外来種対策の取組の情報を市にご提供ください。
- 事業実施の際は、外来生物の持ち込み防止、拡散防止など、適正な管理に努めましょう。

### 【自然観察をされる方へ】

- 農地やため池は、個人の方の所有物です。勝手に立ち入らないようにしてください。
- 生きものは採らないで、観察するだけにしましょう。
- 飼っていた生きものを自然に放さないでください。
- ごみは持ち帰りましょう。
- できるだけバスなどの公共交通機関をご利用ください。